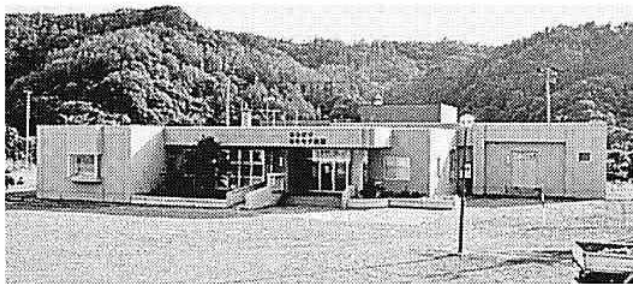


廃止施設の暖房移設

夕張・はまなす会館 冬季利用可能に



ボイラーの故障問題が解決した「はまなす会館」

【夕張】市は二十一日までに、故障した暖房用ボイラーの修理予算がなく冬場の利用が危ぶまれていた市内平和の集会施設「はまなす会館」に、市の廃止施設から暖房設備を移設した。同日から会館の点検整備も始め、九月からNPO法人「当別町青少年活動センター」が指定管理を再開できる見通しになった。

同会館は市北部唯一の大型集会施設。市の財政破たんまで昨夏から同法人が指定管理者となり、地元住民らに貸したり、ボランティアなどの活動拠点に使ってきた。昨年十二月に温水集中暖房のボイラ

ーが故障した後は、葬儀での利用申し込みを八件断るなど活用に支障が出ていた。

このため、市職員が手作業で廃止観光施設などから大型灯油温風暖房機三台、FF式ストップ三台などを移設した。二十一日に始まった施設の点検整備では建物の補修もする。施設の指定管理を続ける同法人は「これで冬季も利用できる。集中暖房より移設した個別暖房の方が燃料を節約できるのでは」と話している。

(太田一郎)